

飛躍

TOKAI UNIVERSITY TAKANAWADAI JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

HIYAKU

第291号



東海大学附属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日/2010年9月1日

●発行者/東海大学附属高輪台高等学校・中等部 校長・杉一郎

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate thy thought in thy early days

若き日に汝の体躯を養え

Make thy body strong in thy early days

若き日に汝の智能を磨け

Improve thy wisdom in thy early days

若き日に汝の希望を星につなげ

Chain thy hope to the stars in thy early days

TOP*NEWS

第42回剛健旅行 無事終了



さあ、スタート!



林道通過



チェックポイントでバーコードチェック



あと一息



仲良くゴール



とん汁がうまい!!

第2回 中等部体育祭開催

2度目の体育祭を終えて

体育祭実行委員長 井上 穂乃佳
3年A組 板橋区立蓮根小学校出身

朝から雨。でもグラウンド実施のお知らせ。体育祭当日の朝はとても混乱しました。不安でいっぱいでしたが、グラウンドに着くころには晴れていて、1時間遅れでスタートしました。

今年は新しい競技も増え、去年よりさらに盛り上がったと思います。1年生は初めての体育祭で大変だったと思います。2年生は応援ですごく盛り上げてくれました。そして、私たち3年生は最後の中等部体育祭でした。すごく良い思い出になりました。

赤組も白組も精いっぱい頑張り、けがもなく終わることができました。体育祭を支えてくれた先生方や、みんなに感謝しています。ありがとうございました。



選手宣誓



色別選抜リレー



背渡りリレー

応援合戦



組体操



台風の目



みんなで応援



ダンス



おんぶ・パン食い



肩組競争



手作りの団旗



ボール運び



玉入れ



徒競走



部活動対抗リレー

応援団長

赤組団長 永瀬 正博
3年A組 川口市立並木小学校出身

僕が応援団長になるなんて思っていませんでした。小学校の時から、応援団なんて面倒くさいだけだと思い、1回もやったことがありませんでした。中等部3年生になって、みんなも僕と同じような考えだったようで男子はだれも手を挙げませんでした。先生から指名されて応援団に入りましたが、放課後の練習はいやだと思いました。

けれども、体育祭で応援合戦を終えた時、達成感がわいてきました。放課後の練習があったからこそ達成感がわいてきたのだと思います。何事にもチャレンジすることの大切さを学びました。応援合戦は応援団のみんなが頑張ってくれたのでうまくいくことができました。ありがとうございました。

応援団長と体育祭

白組団長 田澤 充彦
3年B組 世田谷区立東深沢小学校出身

第2回中等部体育祭では応援団長として参加しました。応援合戦では『ChooChooTRAIN』を踊りました。他にも徒競走、クラス対抗リレーや選抜リレーなど今年は激しく体を動かすことが多かったです。

一番印象に残ったことはクラス対抗リレーで3年B組が1着になったことです。優勝したいと思っていたのでリレーで優勝できてとてもうれしかったです。残念ながら白組は40点差で負けてしまいましたが、その分とても喜ばしく感じています。この体育祭はとても思い出深いものになったので一生忘れないと思います。



赤組応援団参上☆



白組応援団参上☆

応援団員になって

加納 裕子
2年B組 私立精華小学校出身

私は今回の体育祭で応援団員になり、そのなかで副団長になりました。大変だと思いましたが頑張ろうと思いました。ほぼ毎日の昼ミーティングや放課後の練習は大変でした。クラス内での応援の練習はみんなの中心となってやっていかなければいけないので難しかったです。

けれども、体育祭当日は応援団員もクラスのメンバーも白組全員で楽しく体育祭を盛り上げることができました。いろいろありましたが応援団に入って良かったと思います。

応援団員として

中崎 陽史
1年A組 世田谷区立千歳台小学校出身

僕が応援団で頑張ったことは声を出すことです。僕が応援団になろうと思ったきっかけは、僕は体育祭の競技にほとんど参加できないので、せめて応援団をしようと思ったからです。初めての練習では声を大きく出すことや振り付けを覚えることも面倒くさいと思っていました。しかし、何回もやっているうちに面倒くさいとは思わず、頑張ろうという思いに変わりました。

そして、体育祭の日には緊張しましたが練習よりも良くできたと思いました。応援団になって良かったと思います。

第42回 剛健旅行1,364名参加 完歩率97.6%

7月14日、婦恋村の青々と広がるキャベツ畑の中で今年も剛健旅行を行いました。2・3年生の皆さんは、昨年と比べてどうだったでしょうか？ 昨年は珍しく天候に恵まれたため、特に2年生にとっては昨年の剛健旅行からは予想もできない雨の中の過酷な剛健旅行だったかもしれません。しかしその分どの学年の生徒もきっと、なぜこんなにも苦しい思いをして歩くのかということについて考えさせられ、歩き終えた時の大きな達成感を味わったことでしょう。

結果発表

| 高校男子トップ10 (39.78km) | 高校女子トップ10 (27.0km) | 中等部男子トップ10 (15.8km) | 中等部女子トップ10 (15.8km) |
|---------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|
| 1位 1年 8組 伊藤 駿 (3時間41分) | 1位 3年 1組 山崎ほえむ (3時間14分) | 1位 3年 B組 椎名 卓巳 (1時間32分) | 1位 3年 A組 井上穂乃佳 (2時間 5分) |
| 2位 3年 1組 三上 峻平 | 2位 3年 6組 水谷 美波 | 2位 3年 B組 高田 一慶 | 2位 3年 A組 藤野 莉佳 |
| 3位 3年 7組 高田 侑毅 | 3位 3年 4組 馬場 千佳 | 3位 2年 A組 唐鎌 弘匡 | 3位 3年 B組 下平真里那 |
| 4位 1年 6組 山内 飛慶 | 4位 2年 2組 藤井 弘絵 | 4位 2年 B組 阿部 聡 | 4位 2年 B組 吉田 瑠菜 |
| 5位 1年 1組 山中 惇 | 5位 2年 2組 嘉瀬みちか | 5位 2年 B組 伊東慎一郎 | 5位 2年 B組 生沼みなみ |
| 6位 1年 4組 奥津 暢紀 | 6位 2年 8組 戸田 有穂 | 6位 2年 A組 笹原 滉平 | 6位 2年 A組 伊藤 真穂 |
| 7位 1年 2組 理島 直貴 | 7位 2年 4組 波多江玉稀 | 7位 3年 A組 野田 雄平 | 7位 3年 A組 小林 真奈 |
| 8位 3年 8組 樹下 拓也 | 8位 2年 7組 石川 望瑛 | 8位 3年 B組 山木 星 | 8位 3年 A組 家前 朋実 |
| 9位 3年 7組 酒向 悠馬 | 9位 3年 1組 安武 理紗 | 9位 2年 B組 中野 裕太 | 9位 3年 B組 浅岡 菜穂 |
| 10位 3年 4組 高橋 怜 | 10位 3年 2組 片岡優梨亜 | 10位 3年 B組 関 史哉 | 10位 3年 A組 甲田 麻依 |

高校男子 第1位 伊藤 駿
1年8組 東海大学付属高輪台高校中等部出身

僕は中等部出身なので今回で剛健旅行は4回目になります。とは言っても高校生になったので中等部の時よりも距離がはるかに長くなり、去年までとは比べ物にならないほど大変でした。僕が一番きつと思ったのは坂道です。やっと坂道を登りきったと思ったらまた坂道があり、肉体的にも精神的にもかなりつらかったです。ラスト5kmになった時には足もつり、全てが限界に近かったのですが、その時はもう1位だとわかったので必死に走りました。

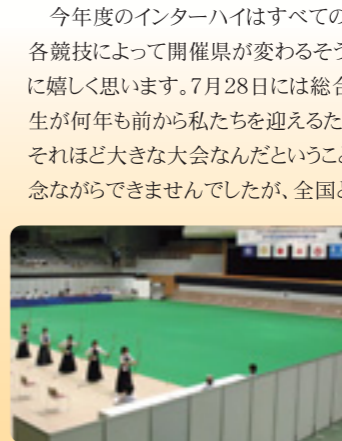
1位をとるつもりで走っていたわけではないし、まさか自分が1位をとるなんて想像もしていなかったのですが、素直にうれしかったです。ゴールした時は達成感をものすごく感じました。それは最後まであきらめずに全力でやりきったから感じる事ができたのだと思います。喜びを得るにはつらい思いや努力をしなければいけないのだと改めて感じる事ができた行事でした。



夏休みの活動報告

インターハイを終えて

弓道部 櫻村 真理
3年9組 中央区立銀座中学校出身



今年度のインターハイはすべての競技が1つの県に集まって行う最後の年でした(来年度からは各競技によって開催県が変わるそうです)。この記念すべき年に出場させていただいたことを本当に嬉しく思います。7月28日には総合開会式にも参加させていただきました。そこでは沖縄の高校生が何年も前から私たちを迎えるためにさまざまな準備をしてきてくれたことに感動すると同時に、それほど大きな大会なんだということを改めて実感し、身が引き締まりました。結果を出すことは残念ながらできませんでした。全国という見たこともなかった世界に触れることができたことは本当に貴重な体験だったと思います。このような素晴らしい大舞台に立つことができたのも、石坂師範や東出先生、石井達人先生の日頃のご指導と、一緒に頑張ってきた弓道部の仲間、支えてくださった多くの方々のおかげだと思います。本当にありがとうございました。今後は、私が果たすことができなくて悔しい思いをした、全国大会決勝進出の目標を後輩が成し遂げてくれることを楽しみにしています。

感謝

野球部主将 篠原 拓也
3年1組 横浜市立大島中学校出身

大会結果

| | | |
|-----|---------|-----|
| 1回戦 | 対 京 華 | 6-0 |
| 2回戦 | 対 正 則 | 7-0 |
| 3回戦 | 対 都立駒場 | 9-2 |
| 4回戦 | 対 都立葛飾野 | 7-0 |
| 5回戦 | 対 日大豊山 | 4-6 |



私たち3年生にとっては最後の大会である夏の選手権大会では、この1年間目標にしていた、甲子園出場は逃してしまいましたが、すべての試合において全力でプレーでき、力を発揮することができました。暑い中応援してくれた、応援団・吹奏楽部・ダンス部・先生方、いろいろな人たちの声援は東東京一番のすばらしい応援で、多くの勇気と元気をもらいました。本当にありがとうございました。今年のチームはとてもしっかりしたチームで、つらい時・苦しい時でも、みんなで励まし合い乗り越えてきたと思います。このすばらしいチームでプレーできたことを幸せに思います。野球部のみんなには感謝したいです。自分たちがこうしてできたのも、熱心に指導して下さった監督・部長・スタッフの人たちや両親、友人など多くの応援してくれた人々のおかげだと思います。高校野球の3年間は振り返ると、あっという間でしたが、この高輪台野球部では野球のことや仲間の大切さ・感謝の気持ち、様々なことが学べました。これからの人生、高輪台野球部で学んだことを糧にして頑張りたいと思います。甲子園の夢は叶いませんでしたが、3年のみんなと野球ができて楽しかったです。ありがとう！最後に後輩たちの応援も、よろしくお願いします。

全国高等学校ダンスドリル選手権大会を終えて

ダンス部部长 鈴木 詩織
3年6組 蓮田市立蓮田中学校出身



今大会を迎えるにあたり、私たちダンス部を応援してください。私たちは全国大会を終え、改めて今大会のレベルの高さを思い知ることになりました。私たちの望む結果とはなりませんでした。大会では技術だけではなく、このような面でも優れたチームが集まっています。自分たちのチームだけが良い舞台で踊るのではなく、地区大会を勝ち抜いてきた同じメンバー・同じダンサーとしてチーム関係なく、努力を称え応援し合い、会場を盛り上げていくことがとても大切です。今大会を通じ、学年ごとに多くのことを学ぶことができました。学んだことを今後のダンス部の活動に生かしていきたいです。また、これから建学祭に向けて3年生が中心となり、ダンス部一丸となって良いパフォーマンスができるよう日々練習に励みたいと思います。

高校1学年だより

スポーツ大会

6月26日(土)、1年生にとって初めてのスポーツ大会がさいたま総合グラウンドで開催されました。一生懸命競技し、応援する姿が会場の至るところで見られました。そして、第1回スポーツ大会総合優勝を勝ち取ったのは、6組でした。

今日は、このスポーツ大会の思い出を各クラスの代表者に話してもらいました。

スポーツ大会を通じて

1組 小林 隼人

今回のスポーツ大会は高校生になって初めてのスポーツ大会を通じて話したことがない人たちと仲良くなれたし、クラスが初めて一致団結できたと思います。1組は今回あまりいい成績を残せませんでした。次回は絶対に優勝したいです。

クラスでとった準優勝

2組 家令 稀帆

高校生になってから初めての行事スポーツ大会!クラス一丸となって取った準優勝はとても心に残るものでした。そして、キックベースで優勝できたのは出場していないクラスメイトたちが応援してくれたお陰です。次は優勝を狙います。

絆の深まったスポーツ大会

3組 石川 恵里香

第1回スポーツ大会を終えて、初めてクラス全員が団結できた気がしました。全員で何か1つのことを成し遂げることが初めてだったのでクラスの絆も深まりました。9月末の中・高合同体育祭やその後にある建学祭もクラス全員で団結して頑張りたいです。

スポーツ大会

4組 久保田 夏帆

6月26日、私たち1年生にとって初めてのスポーツ大会が行われました。サッカー、ソフトボール、リレーなどの競技に出場した人たちは皆全力で取り組み、応援していた人たちにも熱が入っていました。勝ち負けに関わらず、どのクラスも団結力が深まり良かったと思います。

初めてのスポーツ大会

5組 有賀 司

6月26日、あいにくの曇り空の中僕にとって初めてのスポーツ大会が実施されました。競技はどれも盛り上がり、特にリレーはクラスが一丸となっていました。総合優勝は6組でしたが、5組には団結力や深い絆ができたので、改めて実施できて良かったと思いました。



強くなる絆

6組 新津 星

僕たち1年生にとって初めてのスポーツ大会で、一層クラスの絆が強くなったと感じました。普段の学校生活ではクラスの絆を強くするような機会はなかなかありません。しかし、スポーツはチームワークが必要なので、スポーツ大会はクラスの絆を強くする良い機会だと思いました。

スポーツ大会を終えて

7組 渡邊 上総

クラス全員で何かを行った行事。僕たちの成績は輝かしいものではありませんでした。しかし、このスポーツ大会をきっかけに、クラスみんなが少しでもまとまってくれば成功だと思えます。次回は勝てるように頑張りたいです。

一致団結したスポーツ大会

8組 松下 慶勝

僕たち1年生は、必死に若々しく汗水たらしてスポーツ大会を行いました。8組は競技ではほとんど負けてしまいました。しかし、最後のリレーでみんなが一致団結して勝利を目指す姿はとてもカッコ良かったです。普段と違うクラスメイトたちの一面を見て感動しました。

綱引き優勝!!

9組 田中 舜己

僕たち9組は総合では4位でしたが、綱引きでは優勝することができました。なぜ綱引きで優勝できたかはよくわかりませんが、今回の綱引きでクラスのまとまりがより強くなったと思います。次回も頑張りたいと思います。

リレーで得たもの

10組 相澤 純平

僕たち10組は、人数が少ないためリレーには全員が参加しました。結果は残念でしたが、クラス全員で協力し合ったことで男女の壁もなくなり気軽に話せるようになりました。また、このような機会に他のクラスとの交流を深め、気軽に話せる友人を増やしたいです。

高校2学年だより

それぞれの感動を胸に…研修旅行

■オーストラリア 研修コース

7組 野尻 尚志

今回私は初めての海外体験でした。この研修を通して特に印象に残ったことが2つあります。まず1つは、オーストラリアは日本より物価が高いということです。水を例にすると、同じ量の日本の水より80円以上高く驚きました。このことから自分にとっての常識は他人にとって必ずしも常識ではないと思いました。2つ目は言葉の違いです。英語を話して通じる場合もあったのですが、アクセントの違いや発音のちよとした違いで全く通じないこともありました。言葉をうまく伝えられなくて、すごくもどかしい気持ちになりました。



この研修旅行を通して、日本では学べないような大切な経験ができたので非常に良かったです。

■オーストラリア ホームステイコース

2組 田 娜賢

今回オーストラリアホームステイコースに参加して、たくさんのお見学もしましたが何よりもホームステイが心に残っています。私のホストファミリーは多忙な中、お父さんもお母さんも美味しい食事を作ってくれたり、いろいろな所へ遊びに連れて行ってくれたりしました。言葉の壁も何度か感じましたが、ホストファミリーが繰り返し私たちのスピードに合わせて話をしてくれたので、次第に言葉の壁を乗り越えて気持ちを伝え合うことができました。

今回最も大きなカルチャーショックを受けたのは、映画館で映画を観た時です。日本では上映中は静かに見るのがマナーですし、上映前に注意されます。しかし、オーストラリアでは笑える場面では大きな声で笑い、泣ける場面では号泣していました。このような文化の違いを生で感じられたのも大きな魅力の1つでした。



最後に、私は今回の研修旅行に参加できて本当に良かったと心底思いました。大人になったら、なかなか体験できないホームステイでも多くのことを吸収できました。両親を始め、私たちが無事に行って来られるようにサポートしてくださった先生方に感謝いたします。

■ハワイ 研修コース

7組 西村 嘉展

私にとってこの研修旅行は、初めて海外へ行く期待と外国でうまくコミュニケーションがとれるかという不安がありました。すべてが初めての海外で、言葉も字も自分の知識に無いものが多かったり、お金の使い方も良かわからず、友達と助け合ったり店員さんに助けってもらったりしました。

研修プログラムの中のHTICでの実習では、フラダンスやレイ作りなどをやりました。まるで、OCの授業を受けているようでした。

また、大学生との交流も楽しめました。現地の大学生はこわそうな人をイメージしていましたが、普通のアジア系の人でびっくりしました。しかし、彼は日本語をほとんど理解できなかったので話すには苦戦しました。



初めての海外体験は期待以上に楽しいものでした。

■ハワイ ホームステイコース

6組 小川 祥枝

私は今回のホームステイコースに参加する時、初めてホテルでホストファミリーを迎えに来てくれる時はすごくドキドキしていました。友達とも、「どんなホストファミリーかな?」とか、「英語でしっかり会話ができるかな?」など期待と不安でいっぱいでした。しかし、ホストファミリーと会った瞬間からそんな心配は吹き飛ばすような、明るい笑顔で、家族のように迎え入れてくれました。本当に嬉しかったです。

私がお世話になったホストファミリーは、小さな子供がたくさんいる家庭だったので、一緒に紙飛行機を作ったり、パズルをしたり、バスケットボールをしたりとたくさん遊びました。会話はすごく不安でしたが、ジェスチャーや単語を1つずつ聞き取って、片言ですが話すことができました。

ホームステイの2泊3日は、内容がとても濃くホストファミリーと別れるのが本当につらかったと記憶しています。この研修は、楽しいことや新しい経験がたくさんできた有意義な体験でした。



■北海道コース

7組 柿崎 大

北海道は、東京と違い湿度が低く6月は涼しいと思っていましたが、約60年ぶりの異常なほどの暑さでした。研修旅行というテンションの高さで乗り切れましたし、ある意味で貴重な体験ができたと思います。

北海道コースは45名と参加人数が少なくバス移動も多いため、クラスのような一体感があつたように感じました。北海道と言えば自然ですが、



人工物が全く見当たらないような場所もありました。例えば関東平野では高いビルディングや塀なども見えますが、十勝平野は見渡す限り平野で周りに何も見えませんでした。全体的に自然を満喫しながら楽しい研修ができました。

■沖縄コース

7組 百瀬 大清

高校3年間の中で、大きなイベントの1つといえる研修旅行。私は前から1回は行ってみたいと思っていた沖縄コースを選択しました。

この研修旅行でたくさんのことを学びました。羽田空港を出発して那覇空港に降り立った瞬間、沖縄独特のじめっとした蒸し暑さが肌を包みました。その時、沖縄に来たという実感が湧きました。1日目と2日目は、戦争について理解を深めました。戦争は私の想像以上に深い爪痕を沖縄に残しており、これから先二度と戦争を繰り返してはいけないと感じました。3日目以降は、沖縄の大自然と触れ合いながらたくさん体験ができました。遊覧船に乗って森の中を進んだり、美ら海水族館に行ったり、マリンスポーツを楽しんだり、とても多くの思い出を作りました。特にダイビングで見た海中の景色は一生忘れないと言っているほど綺麗でした。本当に多くの体験ができた研修旅行でした。



高校3学年だより

9月号は6月25日(金)にさいたま総合グラウンドにて行われた第3学年スポーツ大会についてご報告します!!
この日は天候にも恵まれ、最後のグラウンドでのスポーツ大会ということもあり、みんな全力でプレーし、一生懸命汗を流していました!

優勝
7組

準優勝
4組

3位
3組

4位
1,6組

桂田 拓

7組 板橋区立高島第二中学校出身

「優勝は…7組!」その言葉を聞いた時、前夜のデンマーク戦よりも大きな歓声が起きました。ワールドカップ前の日本代表のようにまとまりのなかった7組でしたが、このスポーツ大会を通じてチームワークのある素晴らしいクラスになりました。終了後のインタビューで安藤礁悟は、「嬉しいけど、思っていた以上に喜ばない」と答えました。なので、これから先の行事でもクラスがより一層まとまることを実感したいです。今後の7組の成長に期待します。

村中 優大

6組 横浜市立藤の木中学校出身

サッカーをやっていて、まるでワールドカップのフィールドに立っているかと思いました。クラスの応援が半端なく素晴らしかったです。とてもすがすがしい気分プレーすることができました。スポーツ大会はただ単にスポーツをするだけではありません。クラスの絆が深まり、愛が生まれるのです。そしてやるからには「勝つ」という精神が人々を本気にさせて、感動を与えます。スポーツというのは本当に奥が深いと思いました。



選手宣誓



女子サッカー中



お昼休み



ファイター、オー!



クラス対抗リレー



キックベース優勝!

作文コンテスト



6月1日、中等部は全学年作文コンテストが行われました。今年度は、課題が全学年共通で「部活動から学ぶこと」というものでした。本校の教育方針の1つである「部活動と学習の両立」ということから、ほとんどの生徒たちは毎日部活動に熱心に取り組んでいます。書く材料には事欠かないテーマであったと思います。生徒たちの文章からは、部活動を通じた生き生きとした日常が伝わってきます。各学年グランプリ・準グランプリが1名ずつ選ばれ、7月の朝礼で表彰されました。

1年グランプリ

加藤 岳

1年A組 目黒区立月光原小学校出身

僕は、サッカー部に所属しています。小学校でも6年間サッカー部に入部していたので、中学校でも続けたいと思ったからです。一時期、吹奏楽部に入ろうと考えたこともありました。しかし、やはりサッカーの方が好きで、サッカー部を選びました。吹奏楽部とサッカー部には、1つの共通点があります。それは、みんなで協力してものを作り上げていくという点です。吹奏楽部は、仲間と協力しているいろいろな音楽を練習して、コンクールや発表会で賞をとったりします。また、サッカー部は、互いにチームメイトを信じ合い、敵からゴールをうばい試合に勝ったり大会で優勝したりします。つまり、吹奏楽部とサッカー部のどちらも仲間やチームメイトを信じ合って協力するからこそ、さまざまな賞をもらったり、優勝したりできるということです。部活動とは、このように「仲間や友達、または、チームメイトを信じる」ということを僕たちに教えてくれているのだと思います。

2年グランプリ

日塔 佳乃

2年B組 大田区立池上小学校出身

私は昨年4月、女子バスケットボール部に入部しました。初めはわからないことも多く大変でした。また、夏休みに入ってから練習がづらくなりました。私は部活動に行きたくないという気持ちでいっぱいでした。しかし、そんな時に励まし、支えてくれたのは同じ部活動の友達でした。友達のかけてくれた言葉で私の気持ちは、とても前向きに明るく変わりました。やっぱり言葉の力は何よりも強いものだ改めて実感しました。

長い間一緒にいる分、正直な気持ちを言い合っけんかになってしまうこともあります。でもお互いをわかっているからこそ言える言葉もたくさんあると思います。私は、友達に正直なことを言われて助かったことがたくさんあります。

私は、自分を励ましてくれたり、本音も言い合える友達がたくさんいることに気付きました。これからもそんなかけがえのない友達を大切にしていきたいです。

3年グランプリ

飯田 亜海

3年B組 目黒区立油面小学校出身

私が部活動から学んだのは「個性」です。私は吹奏楽部に所属していて、今年3年生になりました。何かと部員たちの前に立つことが多くなり、いろいろと悩むことも多々あります。しかも休みがほとんどないので、心配事も絶えません。

そんな時、私を助けてくれるのはみんなの個性です。私が少しも考えなかった目線で驚くような意見を述べてくれます。みんな一人ひとり全く違う意見を持っていて、感心してしまいます。個性が強いことが吹奏楽部の個性かな、と最近思うようになりました。

でも前はその個性でぶつかり合ったこともありました。先輩とも後輩とも意見が合わない時もありました。あの時は、「個性」とは面倒くさくて悪いものだと思っていました。だからこそ、今「個性」を良いものと思えることは、すごいことだと思います。これからも自分たちの「個性」を大事にして、残り1年間の部活動を楽しんでいこうと思います。

準グランプリ受賞者

| | | |
|-------|-------|-------------|
| 1年 B組 | 野口 未来 | 大田区立六郷小学校出身 |
| 2年 A組 | 田邊 亮介 | 川崎市立大師小学校出身 |
| 3年 A組 | 岩崎 静 | 大田区立久原小学校出身 |



グランプリ、準グランプリ受賞者のみなさん

2010年度学校運営方針

全教科によるSSH活動への積極的な取り組みと 理工系進学者推進の研究

文部科学省から2004年度に採用されたSSH活動も、2006年度でその任期を終え、2007年度から「数学と理科の魅力を実感させて、理工系分野へ進学させ、国際性を備えた人材育成をはかる高大接続を考えた一貫教育プログラムの研究開発。また、社会とつながり、男女共同参画を推進する学校教育・学習のための、連携・企画、評価、交流・成果普及等の手法に関する研究開発。」を研究開発課題として、さらに5年間の研究の延長が認められました。今年度はその4年目に当たります。

また、東海大学では「中高生を理系進学に繋げるための委員会」を立ち上げ、高大連携の進路指導を実施します。

全教科によるSSH活動への積極的な取り組み

- ① 文部科学省SSH指定校としての3年間を終え、新たな5年間の活動を開始するにあたり、短期目標および長期目標を設定し、より充実したSSH活動を推進します。第2期4年目の今年は8月にパシフィコ横浜で実施された「生徒研究発表会」においてポスター発表を行い、9月には文部科学省に於いて中間審査ヒアリングを行います。また、東京都指定校合同発表会(12/23 於.早稲田大学西早稲田キャンパス)、関東近県SSH合同発表会(3/21 於.玉川学園高等部・中等部)等を協同企画・運営します。
- ② 第3学年SSHクラスでは、「課題研究(卒業研究)」の授業において、第2学年SSHクラスでは、「課題実験」の授業において、より発展的な探求活動を目指します。
- ③ 全教科が連携した本校独自のプログラム「科学倫理」のさらなる充実を図ります。
- ④ 数学においては、理科の授業がスムーズに行われるよう連携し、新たなカリキュラムの構築を行います。
- ⑤ 本校中等部や普通クラス、および近隣の小学校、中学校、高等学校との連携をはかり、成果の普及に努めます。
 - スーパーサイエンス教室(12/18)
- ⑥ 「国際化」に対する取り組みの研究をします。

理工系進学者推進の研究

2009年8月から「中高生のための体験授業と交流会」を学園オリンピックスポーツ大会と同時開催をすることによって、従前のものを拡大充実させて実施し、高大連携のもと予想以上の成果があげられました。今年度以降、さらに理系進学を推進する原動力となるよう努めていきたいと思えます。

また、SSH活動と合わせて、理工系進学者の推進のためきめ細かい進路指導を展開いたします。



SSH活動報告

7月21日から3泊4日で、1年SSHクラス24名で科学体験学習旅行をしてきました。見学先は静岡県の東海大学海洋科学博物館、東海大学海洋学部、愛知県の生理学研究所・基礎生物研究所・分子科学研究所、トヨタ産業技術記念館、岐阜県の地球村、核融合科学研究所、長野県の野辺山国立天文台です。TA(ティーチング・アシスタント)として2・3年生のSSHクラスの生徒10名が参加し、1年生をサポートしました。各施設での講義、実験・実習を通して生徒たちは普段の授業ではできない貴重な体験をすることができました。また、車中や宿泊先でプレゼンテーションのプログラムもあり、1年生もTAも成長できた旅行でした。

貴重な体験をした4日間

清田 彩愛

1年10組 中野区立中央中学校出身

私は、科学体験学習旅行に参加しました。この旅行は、様々な研究施設を訪れて様々な体験ができました。普段は入れない施設を見学することができました。これは一般の人たちが体験できない貴重な体験だったので私は、この科学体験学習旅行に参加できたことをとても誇りに思っています。私の中で一番興味・感心を持ったものは愛知県にあるトヨタ産業記念館です。ここは、トヨタの歴史や仕組みなどをわかりやすく展示してある施設でした。私は両親の付き添いでモーターショーなどに行き様々な車を見ていましたが、車の中身のことは知りませんでした。展示物の中から興味を持ったものを一つ選び、それを深く調べた友達にプレゼンテーションをしました。発表したことによって理解がさらに深まりました。これから自動車に対しての見方が変わるくらい多くのことが吸収できました。この旅行を通して、たくさんのことを学びました。今後の学習につなげていきたいです。



海洋科学博物館のバックヤードツアー

科学体験旅行を終えて

山脇 伶王

2年9組 大田区立大森第七中学校出身

4日間、自分はTAとして科学体験旅行に参加しました。TAの視線で臨んだ科学体験旅行は、去年とは全く違うものでした。去年は「学ぶ」という立場で臨んだ旅行でも、今年は「教える」といったことが求められました。打ち合わせをし、1年生が講義に対して興味関心をもって取り組めるか。この旅行をどれだけ楽しんでもらえるか。そんなことを考えて行動しました。大変な旅行でしたが、終盤に近づくにつれて1年生が成長していくのに気がきました。積極的に質問していく生徒が増え、講師の方々への質問の列ができたことには驚きました。内容も次第に濃くなり、最後のプレゼンテーションは1年生とは思えないほど充実していました。この旅行で「人に教える」難しさを知りました。そのための試行錯誤は講義よりも難しかったです。しかし、1年生の成長の手助けができたと思うとやり甲斐のある仕事でした。この旅行を機に、将来の夢ができたという1年生がいると嬉しいです。



力を入れると光が!!(生理学研究所)

3年生としての参加

剣持 瑛行

3年9組 墨田区立両国中学校出身

今回私は3年生として参加しました。3年のTAとしての仕事は、1年生に指示を出したり、あれこれ教えることではありません。それらを行う2年生へのサポートです。部活動などで知り合いはいても、あまり面識のない1年生をまとめるのは困難です。また、部活動とは違い、授業の中での上下関係は難しいようでした。そうした問題を時には客観的に、時には一緒に考えながらアドバイスをするのが3年生の仕事です。しかし、指示を出すよりも自ら動いてしまった方が早いので、自分で動くこともありました。3年生としてこれが一番難しいことでした。これだけを読むと大げさなようですが、決してそうではありません。1年生をサポートする2年生へのサポートは複雑で大変でした。1年生として、2年TAとして、そして今回3年TAとして3回科学体験学習旅行に参加しましたが、それぞれ学ぶことが多かったです。特に今回学んだことはこれからの人生にとっても生かせるものだと思います。



10名のTAが1年生をサポートしました

高輪カップ 開催

卓球 女子バスケットボール 吹奏楽

男子 卓球の部

| | |
|-----|-------------|
| 優勝 | 江戸川区立二之江中学校 |
| 準優勝 | 川崎市立東高津中学校 |
| 3位 | 鳩ヶ谷市立八幡木中学校 |

参加校 16校 (16チーム)

| | | |
|-------------|---------------|------------------|
| 港区立高松中学校 | 江戸川区立清新第二中学校 | 横浜市立新田中学校 |
| 葛飾区立青戸中学校 | 江戸川区立二之江中学校 | 川崎市立東高津中学校 |
| 江東区立深川第七中学校 | 江戸川区立南葛西第二中学校 | 習志野市立第一中学校 |
| 板橋区立板橋第一中学校 | 世田谷区立深沢中学校 | 東海大学付属高輪台高等学校中等部 |
| 板橋区立加賀中学校 | さいたま市立大谷場中学校 | |
| 江戸川区立鹿本中学校 | 鳩ヶ谷市立八幡木中学校 | |

顧問 島田 貴生

女子 卓球の部

| | |
|-----|-------------|
| 優勝 | 横浜市立新田中学校 |
| 準優勝 | 鳩ヶ谷市立八幡木中学校 |
| 3位 | 習志野市立第一中学校 |

参加校 7校 (7チーム)

| | |
|--------------|-------------|
| 板橋区立加賀中学校 | 鳩ヶ谷市立八幡木中学校 |
| 葛飾区立青戸中学校 | 横浜市立新田中学校 |
| 江戸川区立鹿本中学校 | 習志野市立第一中学校 |
| さいたま市立大谷場中学校 | |

顧問 細田 功



江戸川区立二之江中学校



横浜市立新田中学校



第5回高輪カップが7月4日(日)、本校アリーナにおいて行われました。男子は、全国・関東大会出場経験をもつ学校も加わり熱戦が繰り広げられました。決勝では、二之江中学校が昨年度優勝の東高津中学校を3対2で破り、初優勝を飾りました。女子は、昨年度まで3連覇をしていた習志野第一中学校を破り新田中学校が初優勝を飾りました。

本校中等部男子は、残念ながら予選リーグ、3・4位トーナメントでも善戦はしましたが、チームとして1勝をあげることができませんでした。しかし、技術力やチーム力では昨年以上に大きく成長した姿を見ることができました。選手一人ひとりの頑張りが見られた有意義な大会となりました。

女子バスケットボールの部

| | |
|-----|------------------------------|
| 優勝 | 世田谷区立烏山中学校(4年連続4回目) |
| 準優勝 | 川口市立芝中学校 |
| 3位 | 練馬区立開新第三中学校・東海大学付属高輪台高等学校中等部 |

参加校 8校 (8チーム)

| | |
|-------------|------------------|
| 世田谷区立烏山中学校 | 川口市立芝中学校 |
| 大田区立東蒲中学校 | 墨田区立両国中学校 |
| 練馬区立開新第三中学校 | 大田区立出雲中学校 |
| 世田谷区立深沢中学校 | 東海大学付属高輪台高等学校中等部 |

高校監督 高橋 佑未子

本大会も5回目を迎え、各参加校の顧問の先生方をはじめ、多くの中学生と保護者の皆様のご協力でご無事に大会を終えることができました。夏の大会を終え、参加校の大半が2年生中心のフレッシュなチームで臨んだ本大会では、上級生が精神面でもプレーの面でもチームをけん引していく頼もしい姿を見ることができました。どの試合でも最後までひたむきにプレーをする姿勢は高校生も見習うところが多かったようです。また、大会を企画運営する本校部員が積極的に動き、審判などでの失敗を通して多くを学んでくれたことは大きな収穫でもありました。参加をしてくださった中学校の皆さんに満足していただき、大会の趣旨である『最後まで諦めない気持ち』『チームメイトへの思いやり』『感謝』が伝わる大会になるよう部員一同力を合わせて、今後も努力をしていきたいと思っております。



吹奏楽の部

参加校 21校

| | | | |
|--------------|-------------|-------------|------------------|
| 町田市立武蔵丘中学校 | 習志野市立第七中学校 | 横浜市立みたま台中学校 | 川崎市立中野島中学校 |
| 江戸川区立葛西第三中学校 | 我孫子市立白山中学校 | 狭山市立入間野中学校 | 江戸川市立東葛西中学校 |
| 藤沢市立秋葉台中学校 | 八王子市立上柚木中学校 | さいたま市立土屋中学校 | 東海大学付属高輪台高等学校中等部 |
| 川口市立十二月田中学校 | 葛飾区立立石中学校 | 朝霞市立第三中学校 | |
| 板橋区立志村第一中学校 | 横浜市立もえぎ野中学校 | 市川市立妙典中学校 | |
| 川口市立青木中学校 | 朝霞市立第五中学校 | 市川市立第五中学校 | |

昨年に引き続き、第2回高輪ウインドフェスティバルが、7月17日(土)に昨年を上回る21校の中学校吹奏楽部の参加により、本校アリーナにて盛大に開催されました。演奏者1031人、保護者の皆様をはじめとする観客の方が600人



を超え、満員のアリーナで熱気に満ちた演奏が繰り広げられました。5人の講評員の先生方に今後の演奏活動へのアドバイスをいただき、目前に迫った吹奏楽コンクールへの練習に役立てようとしている中学生の姿が印象的でした。フェスティバルの最後には、本校吹奏楽部のスペシャルコンサートを楽しんでいただき、終演を迎えました。顧問の先生方から第3回の開催を望む声が寄せられ、早くも定着した感がある素晴らしいイベントとなりました。

TOKAI キャンパスメッセージ

経営学科での学びの風景

政治経済学部経営学科 教授 横山 恵子

ある時は「食べるラー油」で盛り上がり、ある時は『週刊少年ジャンプ』で談笑する…、どちらもゼミ(演習)の一コマですが、雑談ではなく、新商品のマーケティングや価格弾力性といった製品価格戦略に絡む議論です。このように、経営学のおもしろさの1つは、身のまわりのさまざまな現象が学びの対象になっていることにあるでしょう。

経営学科の講義やゼミでの学びの中で発せられた学生の声としては、「新規ビジネスを考案する講義で面白い」、「情報処理や会計、企業の数字に強くなる」、「毎回レポート提出で大変だけれども、実務家の生の声が聞ける」、「コミュニケーション力が身につく」などがあげられます。

また大学ならではの企画として、ゼミ合宿や外部企画への参加も盛んに

行われています。ゼミ合宿では、ゼミ対抗ディベート合戦、研究発表大会、ビジネスゲーム、スポーツ大会、工場見学など頭と体をフルに動かします。「これで仲間との交流が一気に深まった」「泊まりがけでディベートの準備をしたことがなつかしいし、就職活動でもこの体験が役立つ」という声が毎年聞かれます。

外部企画参加としては、「第6回神奈川産学チャレンジプログラム」(主催:社団法人神奈川経済同友会)という、企業が提示した具体的な経営課題を解決するためのアイデアを県内の大学生に公募した企画で、経営学科のグループが最優秀賞と

優秀賞を獲得しています(詳細は政治経済学部ホームページへ)。その受賞メンバーの中には、皆さんの先輩、高輪台高校出身の学生もいました。

皆さんも、我々と一緒に、さらに豊かな学びのシーンを創っていきましょう。



工場見学

お知らせ

第9回中等部・高校合同体育祭

9月28日(火) 本校総合グラウンドにて 9:00開会式

最寄駅: JR高崎線さいたま新都心

- ・品川駅からJR線経由で約45分
- ・泉岳寺駅から都営浅草・JR線経由で約53分
- ・白金高輪駅から東京メトロ南北線経由で約56分

※さいたま新都心駅からグラウンドまでは徒歩14分です。

●雨天の場合について

9月28日(火)が雨天の場合は10月5日(火)が体育祭、9月28日(火)は振替休日です。(9月28日体育祭実施の場合は10月5日は振替休日です)

●運動靴を忘れずに持参しましょう。

●実施かどうかの最終的な判断は、メール配信のほかに下記の本校ホームページで確認できます。

[http:// www.takanawadai.tokai.ed.jp/hp/keitai.htm](http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/hp/keitai.htm)



行事予定

September 9月

October 10月

- 1日(水) 避難訓練(1限)、朝礼、朝礼後短縮授業
- 4日(土) 後援会委員総会
- 6日(月) 火曜日の授業
- 7日(火) 中学校巡回、**母校訪問(高1)**
生徒自宅学習日(中等部、高2、3)
- 8日(水) 専門医によるカウンセリング
- 12日(日) 東海大学後援会
- 14日(火) 前期期末試験(高校、～17日)、期末試験(中等部、～16日)
- 17日(金) **写生大会(中等部、雨天時午前中授業)**
- 20日(月) **敬老の日**
- 21日(火) 答案返却、校医相談日
- 22日(水) 生徒休業日
- 23日(木) **秋分の日**
- 24日(金) 成績不振者指導
- 25日(土) 水泳実習(中等部)
- 27日(月) 授業日
- 28日(火) **第9回中等部・高校合同体育祭(雨天時振替休日)**

- 1日(金) 後期始業式、火曜日の授業
- 2日(土) 保護者会(中、高1～3年)
- 5日(火) 体育祭予備日1(雨天時授業)(9/28体育祭実施の場合、振替休日)
- 6日(水) 建学祭開祭式(7限目)
- 7日(木) 建学祭準備
- 8日(金) 建学祭準備
- 9日(土) **第46回建学祭(～10日)**
- 11日(月) **体育の日**
- 12日(火) 建学祭閉祭式
- 13日(水) 体育祭予備日2(雨天時授業)
- 14日(木) **学年集会(中3、高3)**、保護者面談(高2、～11月19日)
- 16日(土) 英検(中2、中3)※中1、高は希望者のみ
受験生・保護者学校説明見学会(高校、10:00)
- 19日(火) 校医相談日
- 21日(木) **東海大学進学説明会(高1、1限)**、教育実習(～11月12日)
- 24日(日) 受験生・保護者学校説明見学会(中等部、10:00)
- 28日(木) **学年集会(中1、高1)**
- 30日(土) **スポーツ大会(高2、本校アリーナ)**

研修旅行



編集後記

このところ、引率や送迎で成田空港に行く機会が続いた。そのたびに感じることは、「新東京国際空港」とは思えない遠さである。さすがに現在は「成田国際空港」に改称されたものの、海外100都市に就航するわが国最大の国際空港であることには変わりはない。この7月、成田と東京を最速36分で結ぶ「スカイアクセス」が開業したが、日暮里駅は都心のターミナルとは言い難い。10月には羽田空港に新滑走路が完成しハブ空港に衣替える。成田と羽田が競い合うのではなく、いかに一体化するかが課題だろう。因みに羽田空港の正式名称は現在でも「東京国際空港」だ。(か)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ:<http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>